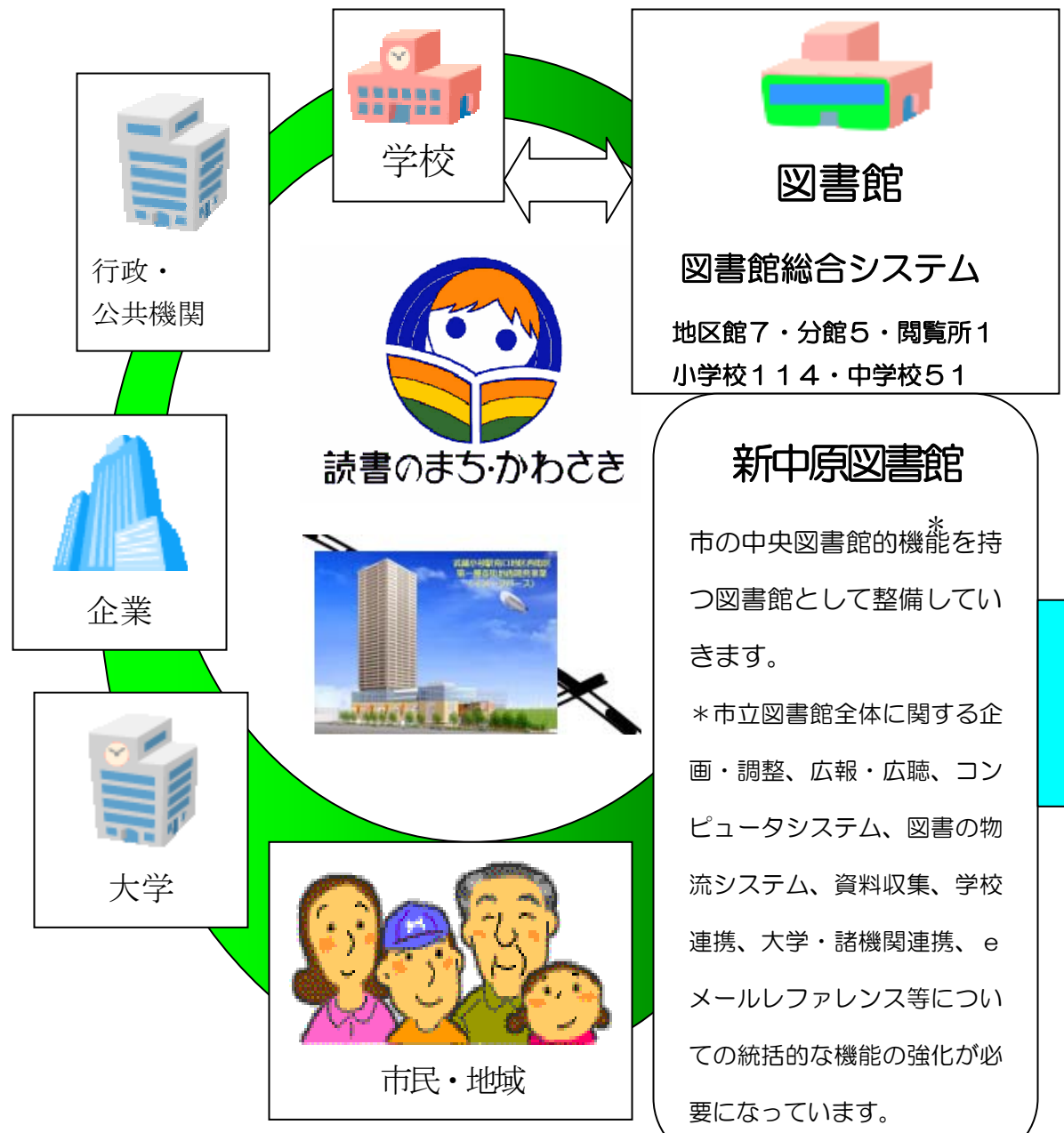


新中原図書館のコンセプト ～ “読書のまち” の新たな展開～



コンセプト

- ①好アクセスのビジネスマンのオアシス**

 - 通勤・通学帰りの知的リフレッシュサービス
 - 開館時間の延長
 - ビジネスマン・ビジネス支援の充実
- ②市民活動・生涯学習活動の支援**

 - 資料・情報をつうじた地域市民活動の拡充
 - 生涯をつうじて学び成長する場
- ③誰もが使いやすい図書館**

 - くつろぎながら親子で読書を楽しむスペース
 - 障害者、外国人、だれでも使いやすく、快適
 - 子育て支援からシニア活動までの場
- ④ハイブリッド図書館**

 - インターネット時代としての時間と空間の制約をこえた全市・24時間サービスの展開
 - 従来からの本や、電子データベース等とインターネットによる高度な情報提供
- ⑤市民・地域・学校・大学・企業との協働**

 - 「読書のまち・かわさき」事業の積極的な推進（学校図書館との連携、読書ボランティア推進など）
- ⑥効率的で利便性の高い図書館**

 - 自動書庫・自動貸出機等IT化の推進による効率化・省力化・省スペース化の推進と市民サービスの向上



閲覧席



児童図書コーナー



自動貸出機



自動書庫

新総合計画・教育プランに基づく5つの拠点

- 1 あらゆる世代の人々が生涯をつうじて学び、活動し、成長する拠点
- 2 「読書のまち・かわさき」の新たな展開の拠点
- 3 武蔵小杉駅再開発を中心とする発展する中原区の拠点
- 4 市民の仕事や生活、地域の課題解決に役立つ資料・情報の拠点
- 5 中央図書館的機能となる川崎市立図書館の中軸・拠点

「読書のまち・かわさき」の拠点づくり

質量両面での飛躍的な利用拡大